

第6学年 年間指導計画（書写 全30時間）

学習の目標	
○文字の形、大きさ、配列などを学び、読みやすく書く。 ○毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方を学び、文字の形を整えて書く。 ○毛筆を使用して、字配りよく書く。	
学習の方法	
○めあてをもとに、子どもが自ら自己評価や相互評価を繰り返しながら練習する。 ○文字量の増加に伴い、速く・読みやすく書くために、自分で判断しながら書いたり、友だちの書き表し方のよさを学んだりする。 ○毛筆を使い、点画の基本的なことを学んだり、効率のよい書写のリズムを学んだりする。 ○毛筆で学んだ書写力を、日常生活の中で活用するために、硬筆と毛筆を関連させて学ぶ。 ○用紙、用具、材料、書式 など様々なものを使う。	
学習の評価	
○単元の目標をどれだけ達成できたかによって評価する。 ○「よい子のあゆみ」では、国語の中の書写の項目で評価する。 ○評価の方法は、作品だけでなく制作中の様子、発言やメモなどとする。	
単元名	主な学習内容
1 はじめに	・毛筆と硬筆の姿勢・筆記具の持ち方を確認する。
・姿勢と筆記具	・いろいろな筆記具の特性を理解する。
・学習の進め方	・学習の進め方を考える。
2 字形	・「湖」の三つの部分の組み立て方を理解する。
・組み立て方(三つの部分)〈湖〉	・「さんずい」の書き方を理解する。
	・既習事項にも注意して、「湖」を整えて書く。
	・硬筆で、三つの部分の組み立て方に注意して書く。
	・いろいろな三つの部分の組み立て方を理解して書く。
3 字形	・「成」長」の筆順と画の長さ、画の接し方を理解する。
・筆順と字形〈成長〉	・既習事項にも注意して、「成長」を整えて書く。
	・漢字の似た部分の筆順の違いを理解し、筆順に従って書く。
	・間違えやすい筆順に注意して書く。
☆生活に広げよう	・適切な筆記具を選択する。
・用紙に合わせて書こう	・既習事項を生かして、丁寧に書く。
	・用紙に合わせて、適切な配列で書く。
4 字配り	・「あこがれ」の外形と行の中心の関係を理解する。
・字配り(ひらがな)〈あこがれ〉	・行の中心に注意して、字配りよく書く。
	・平仮名の「大回り」の筆使いを理解する。
	・既習事項にも注意して、「あこがれ」を整えて書く。
	・硬筆で、行の中心に注意して書く。
5 字配り・配列	・字間・行間、上下・左右の余白のとり方、行の中心を理解する。
・字配り〈世界平和〉	・既習事項にも注意して、「世界平和」を整えて書く。
	・硬筆で、字間・行間、上下・左右の余白に注意して書く。
	・字間・行間、上下・左右の余白、行の中心に注意して、罫線のない紙に、行を整えて書く。
	・適切な字間・行間を理解する。
☆生活に広げよう	・字間・行間、上下・左右の余白に注意して、罫線のない紙に、行を整えて書く。
・横書き	
6 字形	・小筆(筆ペン)の姿勢・持ち方を確認する。
・点画や文字と文字のつながり(小筆)〈俳句〉	・点画や文字と文字のつながりを理解し、小筆(筆ペン)で俳句を書く。
	・既習事項にも注意して、俳句を整えて書く。
	・硬筆で、点画や文字と文字のつながりに注意して書く。
	・点画のつながりと許容の形の関連を理解する。
☆生活に広げよう	・既習事項から自分の目当てを選んで、書き初めをする。
・書き初めをしよう〈希望・伝統を守る〉	・小筆の持ち方や使い方を確認し、名前を丁寧に書く。
7 まとめ	・六年で学習したことをまとめる。
・まとめく未来の夢	・自分の目当てをもって学習する。
	・自分の目当てに対して、自己評価や相互評価をする。
☆生活に広げよう	・生活に広げよう
・未来に向かって!	・未来に向かって!
☆文字の話	・昔の人たちがどのような文字を書いていたかを知る。
・見てみよう 昔の人たちの手紙	